くにみ

【第135号】
昭和43年12月15日発行
非売品
発行所 国見町公民館
発行人 佐藤善次郎
編集人 鈴木美一
印刷所 国見印刷所

◉ なごやかな町づくりは感謝の気持ちから……ありがとう といわれるように いうように

戒石銘を心として……
関口新町長さんに望む

国見町公民館長 佐藤善次郎

去る十一月二十七日に執行された町長選挙において、四一一七票の町民の支持を得て見事に当選、向こう四か年間町政責任の座につかれた関口新町長さんに、衷心から祝意を表するものであります。つきましてはこの際町民の一人として、私の希望を率直に申し上げてご参考に供したいと存じます。

あなたが助役時代に、その席の後壁に、二本松城の有名な戒石銘の拓本が掛けられてありました。〃爾俸爾録、民膏民脂、下民易虐、上天難欺〃この十六文字は申すまでもなく吏道の真髄であります。あなたはこの銘の心に違うことなきよう、日夜自粛自戒しておられたものと推測して、私は心秘かに好感を抱いておったものでした。助役時代も町長時代も、町民に奉仕するこの戒石銘の心には変りない筈です。前途多難を予想される町政執行の上では、この銘があなたに精神的な大きい力をもたらすものと確信しております。

あなたが赤井畑町政の後継者であることは、自他共に認めております。私も是非そうあって欲しいと思います。このことは、赤井畑町政と関口町政との間に間隙なからしむることであって、仕事に一貫性があり、町民に安堵感を与えるものであろうと思いますしかも赤井畑町長は絶対多数の町民の支持を得て無競争当選であったことを考え合わせますと、特にこの感を深くするものであります。私は、地方自治体の行政は、一つの流れの中で徐々に進歩発達してゆくものと思います。従って急激な変革は禁物でありますしかしながら、このことに固執するの余り、あなたの持ち味まで没却してはならないと思います。町民の新町長に期待するものは、何んといっても、若さより発する新鮮味にあると思うからであります。そして、あなたの収入役二十余年のキャリヤは、これからのあなたに大きくプラスすることを信じて疑いません。

更に、首長たるものは将来に対する構想力と、現在に対して繊細な感受性を兼ね備えなければならぬと思います。つぎつぎと起きてくる仕事を事務的にさばく能力も貴重なものでありましょうが、首長たるものは、よりもっと大切なものにエネルギーを使うべきものと思います。即ち、あづかった国見町という山河の産業文化を向上させるための企画を、自ら描き出すべく努力すべきものと思います。その上繊細な感受性のある、言いかえればキメの細かい町政であって欲しいと希うものであります。これがなければ血の通う町政とは言い切れません。これはしょせん首長その人の人間的愛情にかかる問題ですがこのことはあなたが僧籍にあるだけに、私共は安心して見守ることができると思います。

そして公約は是非実行してください。〃公約とは実行しない約束である〃などと悪口を言う人もありますが、万一にもこんなことがあってはなりません。たとえ事に後先があり、多少の時間的ずれがあっても町民の期待を裏切らぬよう配慮すべきものと思います。

最後に、三二六三票の批判票のあることを銘記すべきであります。これを忘れては、円滑な町政は望むべくもありません。謙虚な態度で町政を見ていただくよう望んでやみません。そして、絶えず町民の声なき声を洞察して先手をとることこそ為政者の最も必要な心構えと信じます。以上私の率直な意見を申し上げましたが、なんといっても健康が第一です。先轍を踏まぬよう特段のご留意を望みます。町民もまた、町長さんに必要以上に負担をかけぬよう、心すべきと思います。

そして円満なる町政の運営に専念し、よりよい町づくりのためにご精進をお願いする次第であります。暴言多謝。

付記 町議の補欠選挙において、八巻氏が圧勝されたことは国見町民の良心にくもりがなかったことを立証するものとして、一種の力強さを感ずるものであります。それだけに新人八巻氏に期待するものがまた甚だ大なるものがあります。

11月27日選挙投票成績

投票所	有権者数	投票数	投票率
藤田	3305	3072	92.73
小坂	1213	1120	93.35
森江野	1575	1474	93.76
大木戸	1246	1138	91.81
大枝	663	619	92.77
計	8002	7423	92.89

就任の挨拶

国見町長 関口道孝

このたび町民みなさまの御支持によりまして町長に就任の栄に浴し、責任の重大さを痛感いたしますとともに決意を新にいたしております。

私は、昭和二十二年旧藤田町収入役に就任以来国見町となるに及んでも引続き収入役に選任せられ、昭和四十二年七月助役に就任、今日に至るまで二十二年間町三役の一員として町勢伸展のため微力を献げて参りましたが、いま直接執行部門を担当する国見町三代目の首長として御信託を受けまして、町民各位の御支援に深く感謝している次第でございます。

町政執行者として私は全くの初心者でありますが、過去の経験から得た体験を生かし町政責任者として臨み、前町長の遺した事業の仕上げをするとともに速かにあらゆる施策を充分検討し、地方自治の本旨に基づきよりよい町を造り上げるため全力を尽くす考えであります。

しかしながらどのように理想をとなえましても、財政の裏付けがなければ施策は空論に終ります。町民皆さんの声をよくお聞きし、また、皆さんに町政のあり方をよく理解していただき積極的に財源の確保に努めながら諸施策を講じて参りたいと思う次第であります。

執行機関と議決機関はそれぞれ責任の分野は異なると申しましても、民主的な自治行政を推進する目標は同じであります。車の両輪の如くその機能を発揮し、「和の精神」による町政の運営を特に強調、各々その職責に最善を致し、私の念願とする明るく豊かな住みよい町づくりに一層の御理解と御支援御協力をお願いし、町民各位の御多幸をお祈りしまして就任の御挨拶といたします。

新民生委員（児童委員）きまる

十二月一日付で新しい民生委員（児童委員）が次のとおり委嘱された。民生安定のためのご尽力を切にお願いしたい。

（○印新任、他は再任）

鈴木志都賀 奥山シマ 徳江喜一 渡辺重吉 佐藤ミイ 佐久間いち 宇佐美兵蔵 安藤留作 ○佐藤勝 曳地善作 目黒久太郎 松浦ハル 奥山勝太郎 後藤清 星野ツギ 佐久間岩吉 菅野富蔵 八島福太郎 五十嵐衛 近野稔 村上鉄男 髙木幸作 吉田光夫 松浦新一 斎藤長一 斎藤兼吉 佐藤平治 吉田忠吉 佐野市郎 ○岩城健治

成人式該当者名簿

（昭和23年4月2日～昭和24年4月1日生）

〔藤田方部〕男48 女51 計99 鈴木正男 蓬田美知子 髙橋路子 佐々木勉 阿部ひろ子 牧野勇 谷津美紀子 奥山隆夫 佐藤幸子 亀月次男 盛中忠雄 金子哲太郎 阿部信子 阿部房子 斎藤賢一 八巻かほる 根本博 舟山知子 石井やす子 秦かず子 佐々木喜美江 斎藤陽太郎 国井泰子 安彦富士夫 樋口和芳 寺島道男 舟山武継 村木芳枝 谷津陽子 武田幸吉 松浦キミ子 紺野茂子 熊坂幸男 小山美好子 八島義明 宮沢正子 渡辺邦美 佐藤国夫 徳江のり子 吉田敏幸 古内清悦 鈴木正子 八鳥幸子 秦政夫 佐藤喜代子 黒田美恵子 遠藤義勝 紺野芳雄 髙村育朗 大泉睦子 奥山真紀子 後藤森雄 佐藤恵美子 徳江正治 紺野進 西浦寛子 菊地清 武田安孝 神林茂 田代登美子 内村マサ 宍戸文子 斎藤博 中野クニ子 中野義次 佐藤フミエ 佐久間節子 川口ゆう子 佐藤栄子 菊地アイ子 佐藤喜平 阿部よう子 宍戸昭二 松浦秋子 佐々木由貴子 高橋常男 八島千代 髙橋昇 髙橋ヒロ子 髙橋八重子 佐藤豊子 髙橋正道 吾妻文子 佐藤義一 佐藤三枝子 佐久間法静 髙橋さき子 菅野信子 吉田繁 千葉金六 大津次男 佐藤一男 五十嵐八重子 吉田輝雄 奥山広一 斎藤則雄 吉田勉 髙橋信明 佐藤京子

〔小坂方部〕男19 女28 計74 小沢まゆみ 後藤文子 佐藤秀子 中村君子 高原つぎ 髙原英子 渡辺ヱイ子 橋正一 内村みい子 林りつ子 朽木正美 安藤つや子 安藤ミヨ子 赤坂正勝 野村たき子 富樫愛子 青柳律子 蓬田政春 安藤修 安孫子正 佐藤英雄 渡辺時雄 仲野キヨ 林栄次郎 山田節夫 武田照子 阿部イキ子 黒田義治 紺野シマ子 阿部栄一 宍戸節夫 黒田リヱ 遠藤月子 高野俊昭 高野幹雄 髙橋ヒロ子 赤坂はるい 赤坂斉 鴨田みき子 熊坂謙一 古内八重子 熊坂たか子 高橋仁一 熊坂和子 佐藤ア子キ 志賀キト子 高原正芳

〔森江野〕男20 女28 計48 菊地徹 佐藤茂利 佐久間政子 佐野和子 寺島経子 佐藤正利 高橋成正 吉田ミキ子 佐藤正美 小幡アキ子 佐藤和子 佐藤育男 吉田正子 石川イツ子 吉田ミツ子 佐藤純子 渡辺春男 八巻栄子 渡辺ヤイ子 斎藤裕子 斎藤とし子 斎藤幸子 八巻寛幸 八巻京子 竹谷義規 斎藤カヨ子 斎藤春子 宍戸芳子 小林洋一 徳江由子 賀藤幸一 村上一 佐藤芳子 後藤澄雄 村上敬子 蓬田敏子 実沢カツヱ 徳江光義 蓬田貞治 熊田文男 大波勇一 大波輝子 髙橋トモ子 佐藤賢次 佐久間静子 佐久間照男 佐久間文子 佐藤茂

〔大木戸〕男18 女29 計44 松田信悟 松田正利 武田友江 松田タイ子 佐藤京子 佐藤康子 吉田スナ 髙橋三知子 斎藤武徳 遠藤チカ子 三浦寛 遠藤キヱ子 渋谷アキ 渋谷貴美子 遠藤すみえ 星野良子 松浦世久子 志村清司 高村方子 渡部武男 志村良子 渡辺善雄 後藤アキ子 佐藤貴恵子 蓬田正 松浦シゲ子 松浦金蔵 松浦新一 松浦セツ 松浦茂雄 阿部貞夫 村上秀夫 上沢正吾妻広子 小林喜江 鈴木紀代子 遠藤フク子 菊地清 菊地定雄 武田とし子 斎藤文雄 谷津直利 遠藤すみえ 遠藤チカ子

〔大枝方部〕男6 女11 計17 佐藤あや子 荒川一男 小林知子 佐藤和子 松浦富美子 松浦静子 佐藤光雄 斎藤チヱ 斎藤実 玉手明雄 玉手和歌子 佐藤長太郎 佐藤進 鈴木松子 菊地みき子 鈴木セツ子 佐藤麗子

（お願い）

○掲載もれがあったらすぐ公民館へご連絡ください。

お悔み申し上げます

（十一月中に亡くなられた方 敬称略す）

死亡日	氏名	年令	住所
11、1	伊勢セン	八三	山崎 沢田三
〃 5	谷津キイ	六四	山崎 北町田三十六の六
〃 6	菊池久市	七六	高城 下家老九十
〃 7	佐々木珍平	六二	藤田 北四十七
〃 8	長谷川力子	七九	大木戸 川原二十一
〃 9	桜沢ユワ	七八	西大枝 古舘一
〃 17	賀藤渉	六〇	徳江 小林二
〃 25	八巻清助	八〇	徳江 舘三
〃 29	後藤今朝太郎	八六	大木戸 宮原七十の一
〃 〃	佐久間喜雄	三六	徳江 下川原五
〃 30	村上イエ子	二四	徳江 西四十九

老人のたわごと

真の長寿

どんなに長寿であっても健康でなければ意味がないし、健康であってもその生活内容に充実を欠けば無意味な人生というべきでありましょう。長寿とは暦年令の仲長ばかりをいうのではなく、つまりは生命時間にかかわるのであります。生命時間とは、同じ時計が刻む時間のうちに充実した生活があるか否かということであります。もし、無為にしなすこてともなき時間ならば八十歳も六十歳に及ばないし、逆に充実した八十歳の寿命は、百歳、百二十歳にも値いするのでありましょう。貝原益軒先生の養生訓に「老後は、わかき時より月日の早きこと十ばいなれば、一日を十日とし、十日を百日とし、一月を一年とし喜楽してあだに日をくらすべからず。つねに日時をおしむべし……」とあります。老後の一日、千金たるべし」とあります。人は先が短かい。心細い話だが老人は先が短かい。お互いきょうの一日を大切に、その充実をはかろうではありませんか

◉ 年末年始の生活に節度を守りましょう……虚礼による贈答廃止や宴会の自粛 酒飲み運転の追放

共に語るよろこび

勤労青少年の集いに参加して

十月三十日から十一月二日までの三泊四日、猪苗代の国立青年の家で行われた勤労青少年の集いに参加して参りましたので、紙上をお借りして簡単にご報告いたします。この青年の集いは、わが福島県の青少年教育の一環として、年間二十回にわたり、合計二千名の青少年を集め宿泊訓練をするのです。今年六月から始め、毎回百名づつわたくしたちは第十八回でした。

十月三十日八時藤田駅集合合わせた顔は次の四名、同じ町内に住みながらほんの初対面です（男性同志は青年活動で顔見知り）

佐藤富貴子（石母田）
斎藤　チエ（西大枝）
松浦　万助（大木戸）
大内　一郎（泉　田）

駅には教育委員会の鈴木先生と先輩の後藤与志男君（昨年度参加）がわざわざ見送り激励していただきました。

県下から集った八十余名の若人、職業は、公務員あり、店員あり、工員あり、農業ありまことに多種多様です。オリエンテーションのときはもらわれてきたネコのようにおとなしく、互いに相手の心を探っているようでした。班編成をし、委員長などの役割を決め、宿舎移動などする頃になると相手の顔もおぼえ、そろそろ話し合えるようになりました。

夕べの集いで今晩泊る団体の紹介がありました。その中に「明るく正しい選挙指導者講習会」という百五十名の団体がありました。これは県の選挙管理委員会等の主催で、夕食のとき、わが町から参加された五名のお母さん方に会いました。明朝みんなで写真をとることを約束をしました。

この人達は昨日入り、明日帰る二泊三日の研修で、たいへんはりきっていました。

夕食後はレクリエーションで、みんな一しょにゲームをしたり、自己紹介をし、第一日はお互いの顔を知るという程度です。

第二日、朝六時、音楽によって目をさまし、ベットの整理、洗面、清掃、朝の集いなど時間割によってきちんきちんと進みます。青年の家に行っての一番の収穫はなんといっても時間を守るということです。

八十余名を二分科会に分けそれを更に四、五名の小グループに分け、「わたくしたちの人生観」ということを話し合いました。こうしてやると大きな会合では話せない者もどしどし意見が出るということをさとりました。会津弁、相馬弁、伊達弁、それぞれのお国なまりをまる出しで、ほんとうの心と心の触れあいができるのです。わたくしたちはとかくことばの体裁にとらわれて本音が吐けないのです。

第二議題「わたくしたちの人間関係」の中で一番議論が集中したのは「男女関係」で、男女交際はどうあるべきかなどについて積極的な意見が続出しました。

第三日目「わたくしたちのたのしみ」についての討議、これについては「グループ活動をして友だちと意見を交換する」「青年会の紹介」「四H クラブの紹介」など、今わたくしたちが悩んでいる青年会のことについて大いに参考になりました。

午後には講演をきき、夜はキャンドルサービスが行われ三日間の生活をいろいろと反省しながら最後のベットに入りました。たった三日三晩のことですが、共に食い、共に寝、共に語り合ったこのことで、わたくしたちは多くの友を得たのです。同じ町の中に住みながらも顔も知らず話もできない生活をしているわたくしたちが、ひろく県内の友と語り得たということはまことにうれしいことです。

「対話」「話し合い」は民主社会の原則です。わたくしたち若いものだけでなく、老人も、若人も、男も女も、姑も嫁もみんなでよく話し合い、明るい世の中を作りたいものです。

代表　大内一郎記

明るく正しい選挙をめざして

指導者研修会の記

十一月二十九日から三十一日にかけての二泊三日、私たち五名、明るく正しい選挙指導者研修会に参加させていただきました。

嫁いでこの方二十年、初めての外泊です。なにかしら恐しいような、そして嬉しいような気がして、自分の気持がはっきりわからないまま車中の人となりました。みんなも同じ様子です。のどかな初冬の景色を窓ごしに眺めながらむりにも気を落付けようと努力しているうちにも、汽車は一路猪苗代に急ぎます。「青年の家」とはどんなところか……ちょつぴり話には聞いていましたが、今こうして、じかにこの目で見る青年の家は、まことに見事なものでした。背後には今を盛りと紅葉した磐梯山、前には広々とした明鏡のような猪苗代湖その真中にでんと構えた「国立磐梯青年の家」まさに天下一といっても決して言い過ぎではありません。「会津磐梯山おしやれの山よ、合わせ鏡で日を送る」「会津磐梯山に振り袖着せて……」その華やかな磐梯山に抱かれた青年の家、このすばらしい環境の中で、たった二晩とは言え研修生として学べるということだけでも私は幸せ者なんだとしみじみ感じました。出かけに感じた不安は、いつのまにかうれしさに変っていたことをはっきりさとりました。

「何か一つでもよいから頭に入れて帰ろう」と自分にいい聞かせたものの、県下から集った大勢の人々「選挙制度のあらまし」「政治と選挙」「明るく正しい選挙推進のために」などこれまで耳にしたこともないようなむづかしい題目、殊に人様の前での話し合いなど、すっかり驚いてしまったようなわけ。おまけに二日目の分科会には、いきなり「司会者」だなんて、何のルールもわからず、全く困ってしまった場面もあつて、自分のことをつくづくわからない人間だといやになったり、また大いに反省したりで、これも一つの大きな勉強だと思いました。自分の考えていることを一つも満足に他人に話せないという情けなさ、これは、あまりにも外に出ず家にかりそもっていたせいです。

これからは少しづつでも他人に接し、世の中に出て、見たり聞いたりして、若い青年たちにも、年老いた方々からも良い目で見られるような婦人になりたいと思います。そしてあの青年の家の「生活信条」のように、規律正しく明るくほがらかに、はげまし合って毎日毎日を心豊かに暮せるように努めたいものです。

参加者
佐藤　久子（太田川）
安藤　ヨシ（前　田）
佐藤　セイ（貝　田）
遠藤ミサオ（光明寺）
桜沢　シゲ（同）

桜沢シゲ記

転ばぬ先の杖

昭和二十五年以来運転に従事して一回の事故も違反もなく、優良運転者として高い会津バスKKの高橋哲男さんのことばが「県警だより」にのっていたので町民のみなさんにご紹介します。

まず安全運転について励行していることは

1 出発前に完全な点検をすること
2 だれが見ていようといまいと自らの信念において遵法運転に終始すること
3 家庭の平和と生活の安定を念頭に明るい生活をすること（常に円満な家庭生活をしていること）
4 道路の地形に細心の注意を払い、とくにカーブでは警笛だけでなく速度も落すこと
5 互譲の精神に徹すること

（その他省略）

他の運転者等に対しては、とくに「若気の至り」からの

1 速度違反
2 タバコふかしの片手運転
3 話しながらの脇見運転
4 酒飲み運転

等「おれだけは大丈夫」という自信過剰の態度を固くいましめています。「車は最愛の親であり、子であり、親友であると考え、朝夕手を合わせておがんでいる」ともいっておられる。職務に全力をあげて真向から取り組んでいる態度がうかがわれ、ほんとうにたのもしい限りです。

「一転ばぬ先の杖」「後悔先に立たず」交通事故ぐらい悲惨でつまらないものはありません。しかもその九〇パーセントまでは人災です。自分の注意によって防げるのですから高橋さんのことばを待つまでもなく、町民一体となって交通事故のボク滅に努力しましょう。

秋のスポーツ終る

○第三回町民ソフトボール大会は十一月三日、県北中、藤田小、小坂小の三会場で十四チーム参加熱戦の末、一丁田チームが優勝した。

優　勝　一丁田チーム
準優勝　大町南クラブ
第三位　ザ、スターズ
〃　あつかし山の会

○第三回町内一周駅伝大会は十一月十七日、一般六、学生四の十チーム（六〇名）参加、午前十時農協前スタート、小坂、石母田、貝田大枝、徳江、塚野目を一周して約一時間半後再び農協前に帰還した。その成績次のとおり。

（一般の部）
1、厚樫Aチーム　1・29・16
2、スターズOB　1・30・05
3、たんがら　1・32・52
4、厚樫B　1・35・49
5、藤田クラブ　1・35・51
6、徳江　1・37・40

（学生の部）
1、ザ、スターズ　1・25・25
2、県北中OB　1・27・05
3、森江野　1・30・23
4、富士スポーツ　少年団1・34・42

○第四回町民卓球大会は十二月一日県北中体育館で行われた。入賞者次のとおり、

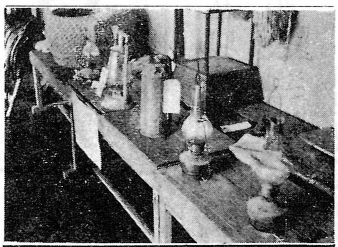
（団体戦）四チーム参加
1、藤田クラブ
2、国見町役場
3、森江野Aチーム

（個人戦）
女子A
1、目黒　裕子　参加一〇
2、松浦　慶子
3、八巻　久子
男子A
1、小野　智義　参加一四
2、吉田　貞男
3、斎藤　惇　参加九
男子B
1、佐野　貞治
2、石川　敏章
3、村上　博行　参加四
女子B
1、国分　正子
2、小野恵美子
3、渡辺ヨシエ　参加九
男子ダブルス
1、赤坂信雄　渋谷　宏
2、斎藤一郎　斎藤　淳
3、小野智義　佐藤春夫　参加四
女子ダブルス
1、松浦慶子　目黒裕子
2、国分正子　佐藤弘子

目で見る明治百年史

民俗資料を大切に

わたくしたちの先祖が衣食住、生業、信仰年中行事などに用いた衣服、器具、家屋その他の物件で国民生活の推移の理解のために欠くことのできないものを民俗資料といいますたとえばこの写真のようなものは皆さんのお宅にもたくさんおありでしょう。大切に保存しておいてください。



おめでとうございます

（十一月中出生届をされた方　敬称略す）

出生日	氏名	親の名と続柄	住所
10、25	菊地由紀子	孝一　長女	境野目　沢六
〃 27	木村　桂子	辰雄　二女	川内　新割四十八
〃	古内　孝行	行清　二男	藤田　宮前一の一
〃	〃　幸子	〃　長女	
〃 29	佐野　雅治	貞治　長男	山崎　北古舘八
11　2	樋口　卓弥	久弥　長男	藤田　南五十八
〃 5	大隈　秀法	宗順　四男	石母田芹沢二十八
〃 10	岩城　重幸	重夫　長男	藤田　南七十
〃 16	市山真紀子	仁市　長女	藤田　中沢一四
〃 24	半沢　勉	豊　長男	山崎　北子舘八

明治生れの方奮ってご参加下さい

かねてお知らせしておいた「明治学級」左記により第一講を開きます。

○期日　十二月二十三日
○場所　午後二時(時間励行)
　　藤田小学校礼法室
○講師　吉岡棟一先生
（曹洞宗福島県宗務所長）

○参加資格明治生れの男女

この記事をもつてお知らせとし、個別に通知は出しません。